

三省堂 中学国語教育

ことばの学び

学びを
実感する
振り返り



ESSAY

自分らしい言葉 石原良純

特集

学びを実感する振り返り

- 「振り返り」指導のポイント 西岡加名恵
- 「走れメロス」「故郷」の授業の自己評価 寺田守

授業アイデア

本の魅力を紹介し合おう

～感想や助言を伝え合うことで効果的な自己評価へとつなげる～ 石川剛章

Number

16

自分らしい言葉

石原良純

一度だけ、父親に褒められたことがある。それは、僕が初めてスポーツ新聞の小さなコラム記事の連載が決まったときのことだ。それまで映画だろうが、テレビだろうが、舞台だろうが僕の仕事のことなど気に掛けていなかった父親から、連載記事のことをあれこれ尋ねられた。

父親の職業は作家だった。作家の息子が変チクリンな文章を書いては、自身の沽券に関わると思ったのだろう。新聞社に原稿を渡す前に、原稿を見せるよう言われた。僕も初連載に不安があったので、書き終えていた数本のコラムを父親に見てもらうことにした。

父親の出版社から送られて来たゲラ刷りを見たことがある。そこに父親は赤ペンで文字や斜線をあちらこちらに書き加えていた。自分の文章でさえあれだけ直すのだから、僕のは原稿は真っ赤になるに違いないと覚悟した。それから数日経ったある日の朝、洗面所で顔を洗っていると父親に声を掛けられた。

「読んだぞ。お前らしい文章だな」

そして僕の手に戻って来た原稿には、誤植がただ一か所、校正されているだけだった。
「僕らしい」と言われてみて、改めて自分の文章を読み返してみた。文章の繋げ方であつたり、言葉の重ね方だったり。なるほど僕はこういうものの言い方をするな、と初めて自分が発する言葉に気がついた。

今度は「親父らしい」ということを意識して、父親の本を読んでみた。すると親父の文章の中に、いくつもの親父らしさが透けて見えた。

もちろん、「お前らしい」の後にはおもしろみがないだの、色気がないだの散々な批評は付いてきた。でも、「らしさ」が文章の中に見えたならば、合格点をもらったと僕は解釈している。

自分の言葉を文章に書いてみる。それを活字にして他人の目で眺めてみる。すると自分の脳の中の一端が見えてくる。

もし文章を書くのが面倒ならば、自分と友人との会話をスマホで録画してみるのもおも

しろいかもしれない。自分はこの言葉を使うのだ。こんな話し方をするのだ。こんな話に興味があるのだ。そこにも、自分では気がついてない自分がいるはずだ。

自分の言葉を通して、自分の知らない自分を発見してみようだろう。

Profile

いしはら よしずみ

俳優・気象予報士。

1962年神奈川県逗子生まれ。慶應義塾大学経済学部卒業。舞台、映画、テレビドラマなどに多数出演。湘南の空と海を見て育ったことから気象に興味をもち、1997年、気象予報士に。日本の四季、気象だけでなく、地球の自然環境問題にも力を入れている。



学びを実感する振り返り

「振り返り」指導のポイント

京都大学教授 西岡加名恵

子供たちが主体的に学習を進める力を育む上で、自己調整力を育てることの重要性が指摘されている。自己調整とは、効果的に学習目標を達成するために、学習者が自身の学習活動に能動的に関わり、自己の思考、感情、行為をコントロールすることを指す（自己調整学習研究会編『自己調整学習』北大路書房、二〇一二年参照）。

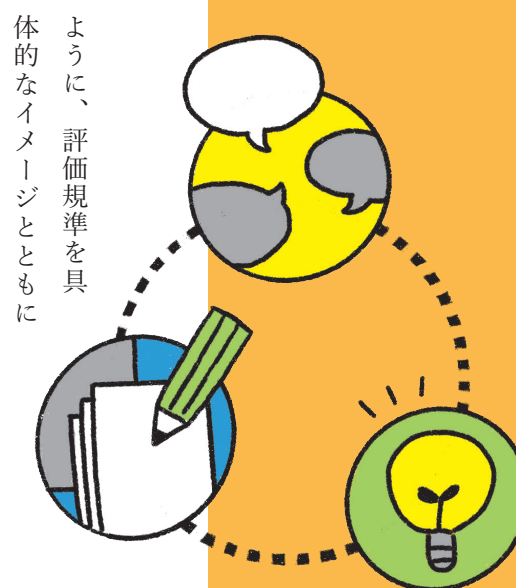
そのような自己調整力を育てるために、授業における「振り返り」が重視されるようになっていく。ここでは「振り返り」指導のポイントとして、三つを提案したい。

第一のポイントは、自己調整をしながら取り組むに値する課題を与えることである。単に暗記・再生したり、型どおりに練習したりする課題では、自己調整の余地は小さい。しかしながら、二〇一七年改訂学習指導要領では、知識・技能を活用して課題を解決する

「思考力、判断力、表現力等」を育むことが引き続き重視されている。そのような力を育むために、国語科でいえば、他の人に意見を主張するための文章を書く、考えを深めるための話し合いをする、といった課題が重要となるだろう。創意工夫が必要になる課題に取り組むからこそ、自己調整を行うことが重要となる。

第二のポイントは、振り返って終わるのではなく、振り返りから改善につなげることである。日本語の「振り返り」では過去を顧みるニュアンスが強いが、英語の reflection（省察）には、活動の途中で、その後の活動を見通して行われるものも含まれる（D・A・シヨーン、柳沢昌一・三輪建二監訳『省察的実践とは何か』鳳書房、二〇〇七年）。自己調整力を育てるという視点から考えれば、課題に取り組む途中で「振り返り」の機会を設け、改善につなげることが重要といえるだろう。

第三のポイントは、適切に自己評価できる



ように、評価規準を具体的なイメージとともに

理解させる指導を行うことである。評価規準を正確に理解できていないと、的外れなところに注力してしまう。また、評価規準については、言葉で説明するだけでなく、具体例のイメージとともに把握させることが有効である。例えば、うまく取り組んでいる事例と失敗している事例を見比べて、どのようにすればうまくいくのかを話し合ったあと、その規準に照らして自分自身の取り組みの達成点と課題を検討するといった活動を行うことが重要となる。

Profile

にしおか かなえ

京都大学大学院教育学研究科教授。専門は、教育方法学（カリキュラム論、教育評価論）。主な著書に、『教科と総合学習のカリキュラム設計』（単著、図書文化）、『教科の「深い学び」を実現するパフォーマンス評価』（共編著、日本標準）、『新しい教育評価入門（増補版）』（共編著、有斐閣）などがある。



「走れメロス」「故郷」の 授業の自己評価

京都教育大学准教授 寺田 守

自己評価の目的

自己評価は、学習者自身が学習の目標をもって学習を振り返ることで、学習の進め方を調整し、次の学習につなげていくためにあります。

学習の目標をもつということは、第一に学習者自身が身につけている力を把握し、自分のできるところ、課題があるところを自覚することです。第二に授業のねらいを意識して、目的意識をもって学習に参加することです。

学習を振り返ることは、その日の学習の過程や成果を対象とします。漠然と振り返るのではなく、根拠となる事実を具体的にあげることが求められます。

学習の進め方を調整するということは、学習の方法を自分で考えて、よいところはそのまま継続し、課題があるところは改善していくことです。授業で学習者の主体的な学習活動があることを前提とします。

次の学習につなげていくということは、次の教材につなげていくという点で、教材での

学習の最後に自己評価を行うことを意味しています。また、教材での学習の過程で次の時間の学習につなげていくという点で、一時間の最後に自己評価を行うことを意味しています。

このように自己評価はまず学習者自身が活用するために行われます。副次的な目的として学習活動やねらいが適切であったかなどの授業評価の資料として教師が活用することや、教師が学習者の身につけた力を把握する形成的評価の資料として活用することもあります。ここでは学習者が自らの学習に活用するための自己評価の実践的工夫について考えます。

「走れメロス」「故郷」の自己評価

国立教育政策研究所の『「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料（中学校編）』では、単元の目標は学習指導要領の指導事項と一対一で対応して作ることとなっています。教科書も指導目標はそのような形で作られています。三省堂の教科書では、「走れメロス」は、「文章の構成や表現の効果について考えることができる。」（読むことエ）が重点目標となっており、「故郷」は、「文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人

読むこと(文学)の自己評価(学習の始め)

2学年()組()番 名前()

1 文学作品を読むことについて、自分ができることに○、不十分だと思うことに△、苦手なことに×をつけよう。

知識・技能	具体と抽象の関係について理解できる。	
	読書の意義と効用について理解している。	
思考・判断・表現	登場人物の設定の仕方を捉えることができる。	
	登場人物の発言や行動の意味について考えることができる。	
	表現の効果について考えることができる。	

2 文学作品を読むことについて、自分の学習の課題(めあて)を考えよう。

3 「走れメロス」での学習目標を書きましよう。

読むこと(文学)の自己評価(学習の始め)

3学年()組()番 名前()

1 文学作品を読むことについて、自分ができることに○、不十分だと思うことに△、苦手なことに×をつけよう。

知識・技能	具体と抽象の関係について理解できる。	
	読書の意義と効用について理解している。	
思考・判断・表現	物語の展開の仕方を捉えることができる。	
	文章に表れているものの見方について考えることができる。	
	文章を読んで考えを広げたり深めたりすることができる。	

2 文学作品を読むことについて、自分の学習の課題(めあて)を考えよう。

3 「故郷」での学習目標を書きましよう。

読むこと(文学)の教材での学習の始めに使う自己評価のためのワークシート例。二年「走れメロス」(左)、三年「故郷」(右)は、それぞれの学年の指導事項に対応した項目で作成すると、年間を通じた学習の見通しをもつことができます。

読むこと(文学)の自己評価(学習の終わり)

2学年()組()番 名前()

1 この教材での学習目標は何でしたか？

2 学習全体を振り返ってください。あなたは学習目標を達成できましたか？あてはまるものに○をつけましょう。

とてもよくできた	
ほぼできた	
どちらともいえない	
あまりできなかった	
まったくできなかった	

3 そのように考えた理由は何でしょうか。これまでの授業のワークシート、ノート、あなたの発言などを振り返りながら、根拠となるできごとを書きましょう。

4 学習の始めにあなたが考えた学習の課題(めあて)は何でしたか？

5 これからの読むこと(文学)の学習に向けて、どのような力を身につけていきたいと考えますか？

読むこと(文学)の自己評価(学習の途中)

2学年()組()番 名前()

1 今日の授業の学習目標は何でしたか？

2 あなたは学習目標を達成できましたか？あてはまるものに○をつけましょう。

とてもよくできた	
ほぼできた	
どちらともいえない	
あまりできなかった	
まったくできなかった	

3 そのように考えた理由は何でしょうか。授業中のワークシート、ノート、あなたの発言などを振り返りながら、根拠となるできごとを書きましょう。

間、社会、自然などについて、自分の意見をもつことができる。」(読むこと エ)が重点目標となっています。

教材での学習の始めの自己評価は、今の自分ができること、できないことを評価して、

学習のめあてをもつために行います。ワークシートは二年生と三年生の各指導事項に対応した項目を自己評価する例となっています。ここで学習目標も確認しておきましょう。

教材での学習の途中の自己評価は、一時間の振り返りです。ここで大切なことは、なぜそのような評価をしたのか、根拠となる事実をあげることです。エビデンスのある自己評価を行うことで、自己評価の妥当性が高まります。また根拠となる事実を書くことで、記入に三分程度の時間が必要となるため、一時間の学習を思い出し、しっかりと振り返る機会を保障します。エビデンスをあげることが慣れないうちは難しい思考となるため、書き方(考え方)を丁寧に説明する必要があるで



読むこと(文学)の教材での学習の途中(右と終わり(左))に使う自己評価のためのワークシート例。ワークシートは、すべて一覧で

Profile

てらだ まもる

京都教育大学准教授。専門は読むことの学習指導研究。学習者が自分の頭で考えて読み深めていく小グループの読書を活用した授業に取り組んでいる。

しよう。

教材での学習の終わりの自己評価は、教材での学習全体の振り返りとなります。学習者は最後の一時間だけの評価をしてしまいやすいので、一時間めに何をやったか、二時間めに何をやったかといったそれぞれの時間のあらましを教師が主導して記憶を想起させる必要があります。教材での学習の始めに設定した自分の学習のめあても思い出すようにします。

自己評価は、これまでのものも一覧できるようにしておきます。ワークシートはファイルに綴じておきましょう。ノートに書く形式でもかまいません。

学習を振り返り、自己評価を行うことで、中学生は学習の意義を自分の言葉で説明することができるようになります。

授業 アイデア

2年



本の魅力を紹介し合おう

「感想や助言を伝え合うことで
効果的な自己評価へとつなげる」

横浜市立六ツ川中学校 石川剛章

授業の流れ

《全7時間》

展開
1

自分が好きな本の魅力を紹介するスピーチの
メモを書く。3人グループで感想や助言を述べ合い、
自分の発表内容を改善する。

▼本の内容や魅力だけでなく、その本を読むことで自分の考えがどのように広がったり深
まったりしたかという、読書による自分の変化を述べるように伝える。

展開
2

一人3分以内で発表する。その際に、発表者以外は
発表を聞いて、**A**（すぐ読みたい）、**B**（いつかは読みたい）、
C（今は読みたいとは思わない）の3段階で評価し、
Chromebookを使って、投票と感想の書きこみを行う。

▼3段階評価は、発表がよかったとしても本の内容にそもそも興味がないという
場合もあるので、その場合は感想を書くときに補足説明するように助言する。

この授業について

読書への誘いとして、ビブリオバトル
をもとにした本の紹介活動を行った。
本を紹介し合い、感想や助言を伝え合
うことで、自分の紹介の仕方や、その本
に対する考えが、どのように聞き手に受
け止められるのかをメタ認知し、対話的
な学びとして相互評価を行う。その上で
さらに自己評価を行うことで資質・能力
の育成を目指した。

評価規準 2年生

【知識・技能】自分が紹介する本の内容を理解し、自分の考えを広げたり深めたりする読書に生かしている。(3エ)
【思考・判断・表現】「話すこと・聞くこと」において、自分が紹介する本の魅力や、その本に対する自分の考えが伝わるように、話の構成や話し方を工夫している。(AI)
【主体的に学習に取り組む態度】読書をおとして自分の考えを広げたり深めたりしようとしていたり、本の紹介をおして話の構成や話し方を工夫しようとしていたりしている。



ICT活用のヒント

評価や感想の交流に
Googleフォームとスプレッ
ドシートを活用しよう

発表を聞いた評価や感想は
ChromebookのGoogleフォームを使っ
て入力し、クラス全員の感想をスプレ
ッドシートで確認できるようにした。

自分の発表を自己評価したうえで、他者からの評価を読み、自分の発表のよい点と改善点を検証する。

▼自分から見た自分と、他者から見た自分の違いを意識させる。

★「本の内容より自分の思いを話しすぎたと思ったが、そこがよいと言われて、驚いたけどうれしかった。」のように他者からの評価をもとにした言葉がみられた。

自己評価と他者からの評価を比較し、共通点や相違点を分析することで、最初に書いた自己評価に妥当性があったかを検証して、さらに深く自己評価をする。

▼今回の学習で身につけた力や、次に同じような活動をするときにどのように工夫するかを考えさせる。

○本を紹介する中で、自分がその本のどこに魅力を感じるのか、その本を読んで自分がどう変わったのかを考えることで、ものの見方や感じ方をメタ認知することができる。

○自己評価で感じたことと同じことを他者から言われたり、自己評価と全く違うことを他者から言われたりすることで、自分の発表を多方面から振り返ることになる。同じ発表でも人によって捉え方が全くことなることを実感できるため、相互評価は自分の活動を批判的に振り返ることに對して、極めて有効である。

○他者がどのような言葉で感想を述べているかを読むことで、新たな表現方法を学び、語彙を増やすことにつながる。

○社会生活は他者との関わりによって成り立つものであり、独りよがりな自己評価にならないためにも、相互評価を欠かすことはできない。

このようなICTを活用した相互評価により、評価や感想の集計と一覧が容易になり、自己の発表のよかった点や改善点を振り返りやすくなる。生徒からは、「伝えることが明確で、紙に書くより意見を述べやすい。」という意見が多くみられた。

生徒のタイピング技術の向上を図りつつ、漢字の適切な変換等も学べる。社会に出たときに役立つ知識・技能を身につけるためにも、ICT活用を進めていきたい。

Chromebook の Google フォームを使った例。
授業のユニバーサルデザイン化は重要なので、何をすればよいかをわかりやすくすることと、発表と発表の間の短い時間で入力できることを意識した。

三省堂教科書・教材サイトでも、「授業アイデア」をご紹介します。

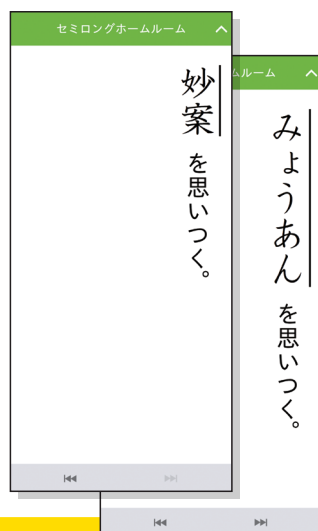


【完全準拠】令和3年度版『現代の国語』 漢字学習アプリ



完全
準拠

教科書の教材ごとに学習できます。
各教材の newly 漢字・音訓を扱っています。



書体

漢字学習に適した書体で
字形を確認できます。



ことまなS

▶ 無料でご利用いただけます



メロスにはなぜ少女に赤面するのか 「テキスト分析」でつくる文学の授業

鈴木昌弘 著

「テキスト分析」は、優れた物語がもつ「空白」を、「問」という形で顕在化させる。テキストを根拠に「解」を求める過程こそ論理的思考である。「テキスト分析」の手法で、国語の授業を力強くサポートする。

定価 2,200 円 (本体 2,000 円 + 税 10%)
A5 判 / 160 頁 / 978-4-385-36518-3



ことまな学校サポートサイトのご案内

……指導書・デジタル教科書(教材)等をご採用いただいている学校ごとの専用サイト

指導書などに付属する各種データに加え、追加の資料やワークシートなどのデータをダウンロードいただけるほか、デジタル教科書などの導入の方法の確認や、お問い合わせフォームもご利用いただけます。
(ログインには ID とパスワードが必要です)



ことまな学校サポートサイト

株式会社 三省堂

〒102-8371 東京都千代田区麹町 5-7-2



ICT 実践事例紹介 公開中

教科書・教材サイト

<https://tb.sanseido.co.jp/>